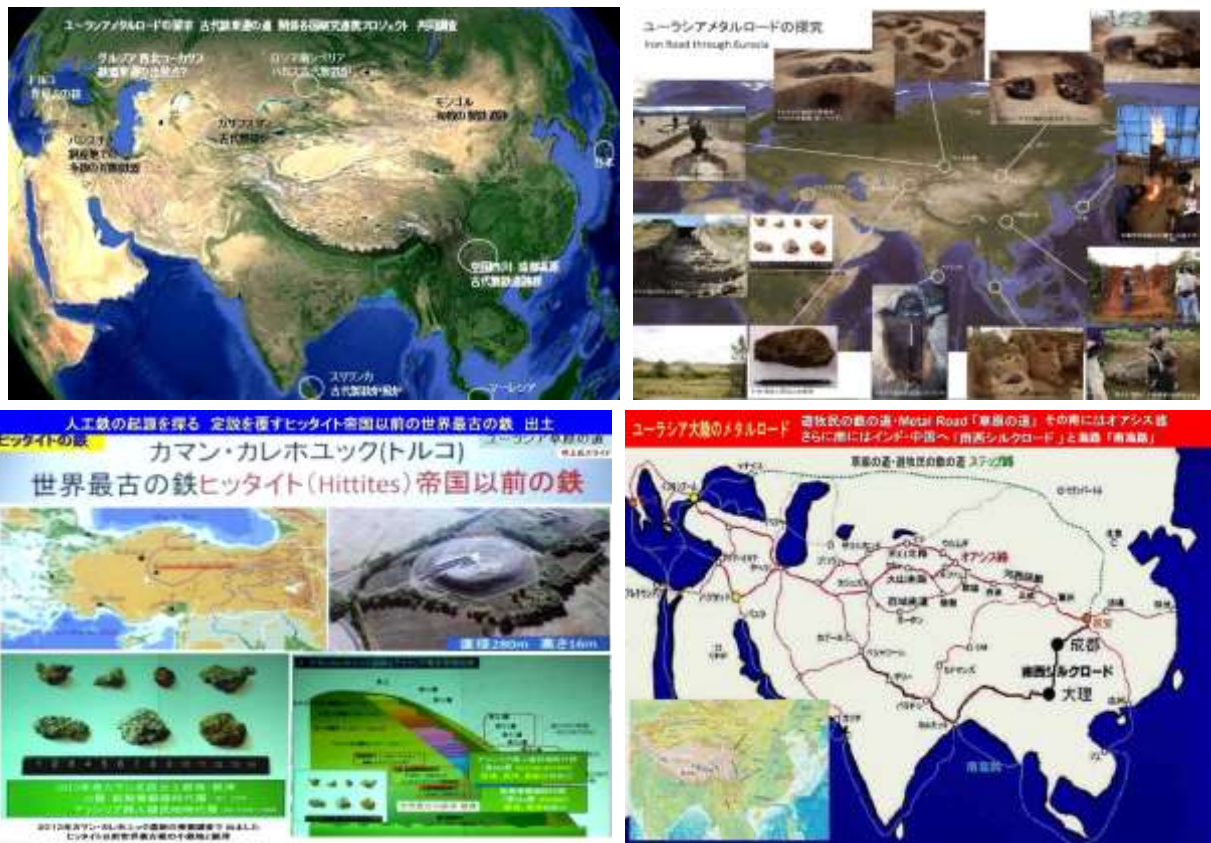


2019年 和鉄の道・Iron Road 口絵

- 口絵-1 鉄の起源・鉄の伝播探求<< ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道Metal Road >>
数々の成果を上げてきた愛媛大東アジア古代鉄文化研究センターが本年4月にさらなる発展を目指して「アジア古代産業考古学研究中心」へと継承改組。
- 口絵-2 東アジアの製鉄炉比較からたたら製鉄を考える
「たたら原世界 -日・中・韓の中世製鉄-」愛媛大古代鉄研究センター国際学術シンポより
- 口絵-3 弥生後期鍛冶工房を有する交易を意図した生産工房集落「加茂谷加茂宮の前遺跡」
当時の重要な交易品「辰砂」の主生産地 徳島県若杉山遺跡のすぐ隣で出土
淡路島の舟木遺跡などと同じ 大和の国造りの始まりを解き明かすのか?
- 口絵-4 最新の発掘調査データを取り込み書かれた角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」
知りたかったたたら製鉄の原料 砂鉄について 色々知見
- 口絵-5 「名刀匠三条宗近が信仰する稻荷明神の化身子狐(童子)を相槌に名刀「小狐丸」を鍛え上げた」
謡曲「小鍛冶」の舞台 旧東海道 京都三条通 栗田口に鍛冶伝承の痕跡を訪ねる
- 口絵-6 鉄の話 あれこれ 久しぶりに聞く「青熱脆性」の言葉
弥生の銅鐸破片 「銅鐸の有する青熱脆性の性質が弥生時代終末の謎を解く」
弥生人は銅鐸を加熱後、取り出して衝撃をあたえれば割れて破損することを知っていた

口絵-1 鉄の起源・鉄の伝播探求<< ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道Metal Road >>



Iron Road ・和鉄の道記事掲載by Mutsu NMakanishi2019.3.25.

《聴講を中心とした愛媛大学東アジア古代鉄文化センター国際シンポジウム関連掲載記事リスト》
<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1904tetsunokigenehime.pdf>

口絵-2 東アジアの製鉄炉比較からたたら製鉄を考える

「たたら原世界 -日・中・韓の中世製鉄-」愛媛大古代鉄研究センター国際学術シンポより



口絵-3 弥生後期鍛冶工房を有する交易を意図した生産工房集落「加茂谷加茂宮の前遺跡」

当時の重要な交易品「辰砂」の主産地 徳島県若杉山遺跡のすぐ隣で出土
淡路島の舟木遺跡などと同じ 大和の国造りの始まりを解き明かすのか？

淡路島に出現した山間地の生産工房大集落遺跡群と同列の大生産工房遺集落跡が阿波にも存在

【鉄の話 あれこれ】 情報 弥生中・後期「阿波」の大鉄器製造工房村集落が出土
阿南市加茂谷の弥生中・後期の大規模生産工房集落遺跡「加茂堂の前集落遺跡」



鉄器の製造拠点が 加茂宮ノ前遺跡(徳島・阿南市)で鍛冶炉や道具出土
加茂宮ノ前遺跡(徳島・阿南市)で鍛冶炉や道具出土



徳島県阿南市加茂町の加茂宮ノ前遺跡で、弥生時代中期末～後期初頭(約2000年前)の竪穴住居跡20軒が見つかり、このうち10軒では鉄器を製作した鍛冶炉や鉄器作りに用いた道具類などが出土した。県教委と県埋蔵文化財センターが5日発表した。鉄器の製造工房としては国内最古級で、集落(ムラ)の半分が工房という特徴から、県南部に大規模な鉄器の生産拠点が形成されていたとみられる。

出土した鉄器を製造する。

2018/7/6

口絵-4 最新の発掘調査データを取り込み書かれた角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」
知りたかったたたら製鉄の原料 砂鉄について色々知見



口絵-5 「名刀匠三条宗近が信仰する稲荷明神の化身子狐(童子)を相槌に名刀「小狐丸」
謡曲「小鍛冶」の舞台 旧東海道 京都三条通 栗田口に鍛冶伝承の痕跡を訪ねる



口絵-6 鉄の話 あれこれ 久しぶりに聞く「青熱脆性」の言葉

弥生の銅鐸破片 「銅鐸の有する青熱脆性の性質が弥生時代終末の謎を解く」

弥生人は銅鐸を加熱後、取り出して衝撃をあたえれば割れて破損することを知っていた



銅や銅合金などを加熱してゆくと突然急激に脆くなる領域がある。

鉄屋の私にとってはなじみのある言葉である。

青熱脆性・500° F 脆性 赤熱脆性 中間焼鈍脆化 中間焼鈍割れ・SR割れ